

ユネスコ青年交流研修会 2016 ～ほんとうのネットワークをつくろう～ 報告

開催目的：

- ・ ネットワークとしての課題の共有
- ・ 連携して地域や大学で活動を推進していくための情報共有
- ・ 全国的青年連絡組織、日本ユネスコ協会連盟、国連 UNESCO 等に関する情報共有
- ・ 課題解決のための方策の検討

日時：2016 年 8 月 6 日（土）14:00 ～ 20:00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（カルチャー棟 音楽演劇室 43 集合）

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 <http://nyc.niye.go.jp/>

主催：全国的青年連絡組織

参加対象： 次のいずれかに該当する、15 歳以上 35 歳未満の青年。

1. ユネスコ協会及びユネスコクラブに所属している青年
2. 大学ユネスコクラブに所属している学生
3. ユネスコ活動に関心のある青年

参加費：社会人 3,000 円 / 学生 1,000 円

（夕食代、資料代を含む・遠方からの参加者に交通費補助あり）

参加者：朝井（渋谷）、井上（柏）、國分（渋谷）、
小崎（松山）、佐々木（札幌）、
佐藤（岐阜県）、清水（渋谷）、
高橋（杉並・アルムニ）、長坂（長野）、
藤田（岐阜県）、横田（松山）

オブザーバー：安達（長野）、石川（柏）

タイムスケジュール：

（カルチャー棟 音楽演劇室 43）

13：00 受付

13：30 開会、自己紹介

14：00 ネットワークにまつわる課題について
地域を超えたユネスコ活動の動きについて
全国的青年連絡組織のネットワーク強化事業について

17：00 夕食・休憩

（センター棟 410）

18：00 ネットワークの運営方法について

20：00 終了



話し合いの内容

◇青年会員はどのように青年活動の情報を集めているか/どうすれば情報を一人一人に届けられるのか

- 直接誘う又は誰かに誘われる
- SNS（LINE グループ、Facebook、Twitter など）
 - 世代によって使うものが違う（高校生はあまり Facebook を使っていない）、流行り廃りがある
 - 受け取り側が楽にできるものが多い
- サイボウズ、セールスフォース（協会連盟事務局が使っている）はどうか？
 - システムを管理できる人が必要になってしまう。
- 全青連は個人情報を持たないというスタンスでやってきた。現状では青年一人ひとりの連絡先情報を管理しきれない。メールアドレスを変更すると追えない。

◇ユネスコ会員の規模について（各自の認識）

- 2万人という数だが民間でないといけないこともあると思っている
- 年齢層が広く同じ思いを持って一緒に活動している
- 全国に散らばっている（高知、長崎を除く）
- 周りの人に伝えるためには自分たちが何をしているか説明しないといけない。民間ユネスコ活動を理解するのは難しい

◇全青連から青年への連絡方法

- 青年部の代表者、窓口担当者に連絡する
- 各青年部で1本化した代表アドレスを作ってもらうのが望ましい
- 1つのツールでは無理なので、メールだけでなく、LINE やメッセージー等を使うべき
- 個人向けのメーリングリスト、メールマガジンをつくる
- 大人に声かけることは有効、青年がいるユネスコ協会の大人にメールをする
- 知り合いに声をかけることが大事、顔を知っているからこそ反応がある
- Facebook ページ上で他のユ協・クラブの Facebook ページの投稿をシェアしている。全青連のページをイイネしている人には表示がでるようになっている

◇組織として全青連はどう地域の青年とつながるか

- 結局は個人的につながって直接連絡した方が良いのではないか
- 知り合う場を作る、人とつながる機会を増やす
- 現状全青連としては青年全国大会を企画するのでいっぱい
- 人とつながる機会のような事業をしているユ協（青年）を支援していく

◇全青連にどんな支援を求めているか

- 資金的な支援、他団体の助成金などの紹介
- 事務作業の支援（助成金申請書や報告書等）
- データや資料（青年ユネスコを紹介する資料、UNESCO に関するもの等の活動に使える資料・ホワイトペーパー）を開示してほしい

- ユネスコドメインのアドレスがほしい
- 事業を後援してほしい
- アドバイスができる人、経験がある人、必要なスキルを持っている人など人材の橋渡し
- 協会連盟事務局との橋渡し
- 会議、活動する場所がほしい

◇その他の自由な発言で出てきた意見

- Facebook のおもしろコンテンツを作る、かただけでなく、気軽なものが必要
- 自己研鑽の場が必要—ユースセミナーをまたやりたい
- 同じユネスコの名前を使っている日本ユネスコ学生連盟との関わりも今後考えていくべき

◇今後のアクション

- Facebook グループ（「青年ユネスコ情報」）を使用した自己紹介リレーを実施（長坂が責任者）。
 - このページの参加者は青年に限らず、現在会員ではない人も含む、「ユネスコ活動に関わったことがある人」を招待する
 - 自己紹介をリレーすることで、まだ直接知り合っていなかった仲間との接点を見つける
- ネットワーク強化活動を通して、情報伝達方法を考えていく。
- ウェブサイトを次世代に引継ぐための準備作業。リニューアルに向け、人材の確保、コンテンツ等ウェブを使用した広報の企画を行う
- 20代後半～30代の活動を止めてしまった青年や活動できずにいる青年、全国の活動には出てこない青年が今何しているかを聞き取り作業（國分が試験的にブログなどを使って行う）。35歳まで楽しく活動するヒントが見えてくる可能性がある。

以上

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

